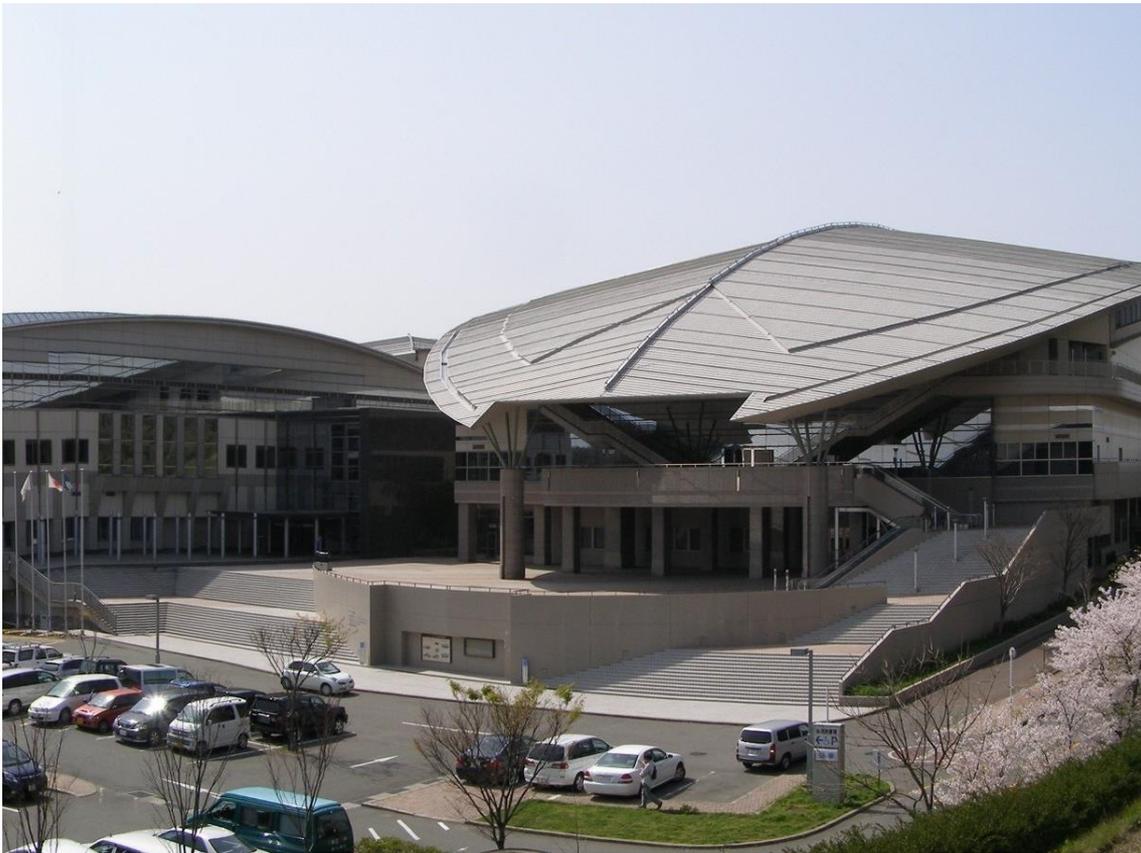


令和6年度

専門研修（断続研修）保健体育研修講座
研修オリエンテーション資料



期 日 令和6年5月14日（火）

福岡県体育研究所

専門研修（断続研修）講座受講上の留意事項

福岡県体育研究所

1 研修日程

(1) 会場

福岡県立スポーツ科学情報センター（アクション福岡）
〒812-0852 福岡市博多区東平尾公園2-1-4

(2) 研修日程

日 程	9:15 ~ 9:30	受付
	9:30 ~ 9:45	日程確認等
	9:45 ~ 12:00	研修
	12:00 ~ 13:00	休憩
	13:00 ~ 16:00	研修
	16:00 ~ 16:30	諸連絡等

【注】感染症や災害等の非常事態により、会場・研修日程等を変更する場合があります。

2 欠席（早退・遅刻）の届

やむを得ず欠席（早退・遅刻）をする場合には、所属長から電話等により体育研究所に必ず連絡するとともに、別紙様式により報告してください。

【注】提出については、講座受講申込書提出の要領に準じます。

3 交通アクセス

(1) バス

JR博多駅 交通センター14番乗り場から約20分
地下鉄福岡空港駅 福岡空港前バス停から約7分

(2) 自家用車

JR博多駅から約20分
福岡都市高速道路 月隈IC、金の隈IC、西月隈ICから約5分

4 注意事項

- (1) 本研修が感染症や災害等の非常事態により集合できない場合、原則としてオンライン型研修に変更して実施します。その際は、福岡県体育研究所ホームページ（事前連絡票）でお知らせしますので、必ず事前に御確認ください。

断続研修に関する事前連絡票等のパスワードは、以下のとおりです。

d a n k e n 2 4 ※パスワードの取り扱いには十分御注意ください。

- (2) 本研修の一環として、本所の専門研修（短期研修）講座を受講することとしています。県教育センターへの申込みは、各自で行ってください。

5 連絡先

福岡県体育研究所

〒812-0852 福岡市博多区東平尾公園2-1-4

TEL 092-611-0220

FAX 092-611-1747

令和6年度専門研修（断続研修）保健体育研修講座 年間プログラム

回	1	2	3・4・5★	6	7
期日	5月14日(火)	6月11日(火)		8月28日(水)	9月27日(金)
	<ul style="list-style-type: none"> 断続研修の趣旨を理解する 1年間の見直しを持つ 授業研究の進め方、これからの体育授業の在り方を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> 新学習指導要領の趣旨・考え方を理解する 授業づくりと評価の方法を理解する 個人研究の構想を発表することで今後の研究の見通しと課題を明らかにする 	<ul style="list-style-type: none"> 専門研修（短期研修）講座に参加することで専門的な知識・技能を身に付ける（短期研修講座3日間・1日間×3を受講） ☆受講生各自の研究テーマに沿って実施（7月30日（火）の講座は必修） 	<ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーション作成の方法を学ぶ 授業づくりの方法等を理解する 検証方法等を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> 授業づくりの方法を理解する 検証方法等を理解する
9:30	受付	受付	受付	受付	受付
	開講式 20	日程確認・諸連絡 15	日程確認・諸連絡 15	日程確認・諸連絡 15	日程確認・諸連絡 15
9:50	講義・発表 ○1年間の断続研修を見通して ○研究構想と主題の設定 (体研指導主事) 60	講義・発表 ○授業研究の進め方について ○研究構想の発表 135	講義・実技 ☆短期研修講座を2日間受講 受講生の研究テーマに沿って 135	講義・演習 ○プレゼンテーションの基礎 135	講義 ○授業づくりの方法と検証方法について (久留米大学 教授 野田 耕) 55
10:50	休憩 10				発表・協議 ○検証授業に向けた指導案 審議（模擬授業） 80
11:00	○実践発表・協議 (前年度断続研修修了者 大牟田市立上内小学校 教諭 梶井 皓二郎) 60	(愛媛大学 教授 日野 克博)		(教育センター指導主事)	(久留米大学 教授 野田 耕) (体研指導主事)
12:00	休憩 60	休憩 60	休憩 60	休憩 60	休憩 60
13:00	○これからの体育科・保健 体育科授業の在り方について ○授業研究の考え方について	発表・講義 ○研究構想の発表 ○授業づくりについて 150	講義・実技 ☆短期研修講座を2日間受講 受講生の研究テーマに沿って 180	協議 ○検証授業に向けた指導案 審議 ・テーマに基づいた授業づくり のための指導案提案 ・分科会ごとに協議 (体研指導主事)	発表・協議 ○検証授業に向けた指導案 審議（模擬授業2） (久留米大学 教授 野田 耕) (体研指導主事) 80
14:00		(愛媛大学 教授 日野 克博)		(体研指導主事)	発表・協議 ○検証授業に向けた指導案 審議（模擬授業3） (久留米大学 教授 野田 耕) (体研指導主事) 80
15:00	(福岡教育大学 教授 本多 壮太郎) 180	演習 ○研究構想について 30		講義 ○検証方法について 30	講義 ○個人研究のまとめについて (体研指導主事) 20
16:00	次回の内容・課題等の確認 及び諸連絡 30	次回の内容・課題等の確認 及び諸連絡 20	次回の内容・課題等の確認 及び諸連絡 20	次回の内容・課題等の確認 及び諸連絡 20	次回の内容・課題等の確認 及び諸連絡 20
16:30					
令和6年度	<講師内容> ○これからの体育科・保健体育科授業の進め方 ○授業研究の考え方について	<講師内容> ○授業研究の進め方について ○研究構想の審議 (提出課題を用いて)		<講師内容> ○プレゼンテーションの基礎	<講師内容> ○授業づくりの方法と検証方法について ○検証授業に向けた指導案審議2 (模擬授業)
	<体研指導主事内容> ○1年間の流れ ○研究構想と主題設定等	<体研指導主事内容> ○研究構想について		<体研指導主事内容> ○検証授業に向けた指導案審議1 ○検証方法について	<体研指導主事内容> ○検証授業に向けた指導案審議2 (模擬授業) ○個人研究のまとめ方について
	課題 研究構想ワークシート →5月27日(月)	課題 研究構想ワークシート →7月16日(火)までに体研指導主事と詳細を確認する	※「体育の授業づくり」にて連絡 課題 指導案と単元構造図 →8月20日(火)までに提出 体研指導主事と詳細を確認する	課題 指導案と単元構造図 →9月17日(火)までに体研指導主事と詳細を確認する	課題 指導案と単元構造図 →代表授業研修・検証授業参観までに体研指導主事と詳細を確認する

令和6年度専門研修（断続研修）保健体育研修講座 年間プログラム

回	8		9		10		11		12	
期日	10月22日(火)		11月6日(水)		11月26日(火)		1月9日(木)		2月18日(火)	
	・授業参観を通して授業分析の力を高め、授業づくりについて考える (授業研究会：)		・授業参観を通して授業分析の力を高め、授業づくりについて考える (授業研究会：)		・授業参観を通して授業分析の力を高め、授業づくりについて考える (授業研究会：)		・本県の体育・スポーツ行政を理解する(地域・競技スポーツ) ・研究発表の方法を理解する		・発表することで成果と課題を明確にする ・1年間の研修をまとめ、研修の成果を実感する	
9:30	受付		受付		受付		受付		受付	
	日程確認、諸連絡	15	日程確認、諸連絡	15	日程確認、諸連絡	15	日程確認、諸連絡	15	発表	
9:45	開会行事 事前検討会	55	開会行事 事前検討会	55	開会行事 事前検討会	55	講義 ○本県の体育・スポーツ行政等について		○研究授業内容の発表 ・テーマに基づいた今後の取り組みについての提案	
11:00	検証授業と授業分析 ○○ ○学校 ○○ ○○教諭	80	検証授業と授業分析 ○○ ○学校 ○○ ○○教諭	80	検証授業と授業分析 ○○ ○学校 ○○ ○○教諭	80	・全国、福岡県の取組 (体育スポーツ健康課) 協議 ○研究発表に向けての資料作成 (体研指導主事)	135	指導助言 (福岡教育大学 教授 本多 壮太郎)	150
12:00	休憩	60	休憩	60	休憩	60	休憩	60	休憩	60
13:00	研究協議		研究協議		研究協議		協議		発表・協議 ○研究授業内容の発表 ・テーマに基づいた今後の取り組みについての提案	
14:00	講義 ○テーマに基づいた授業 分析方法について①		講義 ○テーマに基づいた授業 分析方法について②		講義 ○テーマに基づいた授業 分析方法について③		○研究発表に向けての資料作成 (体研指導主事)		指導助言 (福岡教育大学 教授 本多 壮太郎)	120
15:00	指導助言 (福岡教育大学 教授 本多 壮太郎)	180	指導助言 (久留米大学 教授 野田 耕)	180	指導助言 (愛媛大学 教授 日野 克博)	180		180	講義 ○今後の授業(研究)の進め方	
16:00	指導助言 (福岡教育大学 教授 本多 壮太郎)	60	指導助言 (福岡教育大学 教授 本多 壮太郎)	60	指導助言 (福岡教育大学 教授 本多 壮太郎)	60		60	指導助言 (福岡教育大学 教授 本多 壮太郎)	60
16:00	閉会行事 諸連絡	20	閉会行事 諸連絡	20	閉会行事 諸連絡	20	次回の内容・課題等の確認 諸連絡	30	修了式 諸連絡	30
16:30	※会場校の時刻により変更有り		※会場校の時刻により変更有り		※会場校の時刻により変更有り					
令和6年度	<講師内容> ○主題に基づいた授業分析について		<講師内容> ○主題に基づいた授業分析について		<講師内容> ○主題に基づいた授業分析について		<講師内容> ○本県の体育・スポーツ行政等について		<講師内容> ○研究授業内容の発表 ○今後の授業の進め方	
							<体研指導主事内容> ○研究発表に向けての資料作成			
	課題 指導案と単元構造図 →代表授業研修・検証授業参観までに体研指導主事と詳細を確認する		課題 指導案と単元構造図 →代表授業研修・検証授業参観までに体研指導主事と詳細を確認する		課題 個人研究のまとめ →1月6日(月)までに提出する					

令和6年5月14日

専門研修（断続研修）講座受講者各位

福岡県体育研究所

専門研修（断続研修）講座受講報告書について

講座修了にあたり、受講報告書を下記により提出してください。

記

〈様式〉

		令和6年2月18日
福岡県体育研究所長 殿		
	学校名	〇〇〇立〇〇〇〇学校
	職・氏名	〇〇 〇〇 〇〇
令和6年度専門研修（断続研修）講座受講報告書		
このたび、令和6年度専門研修（断続研修）講座受講者として、下記のとおり研修しましたので報告します。		
記		
1	研修講座名	保健体育研修講座
2	研修の期間及び日数	令和6年5月14日から令和7年2月18日までの期間の12日間
3	研修の成果	

〈書式〉

- A4横書き。45文字×40行、余白、上下左右20mmを標準とする。
- 上記内容を1ページにまとめる。

※ 在籍校長の承認を得た後、令和7年2月18日（火）に提出してください。

(別紙様式)

公印省略

(文書番号)

令和 年 月 日

福岡県体育研究所長 殿

所属名

所属長名

令和6年度専門研修(断続研修)講座の欠席等について(報告)

このことについて、下記のとおり報告しますので、よろしくお取り計らいください。

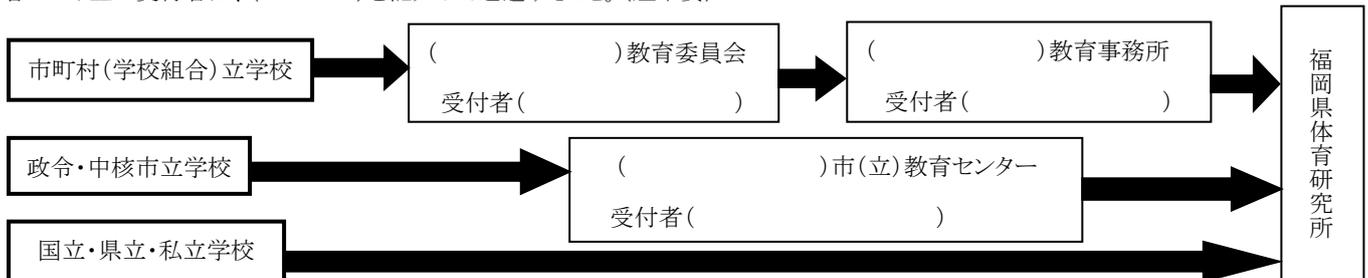
記

フリガナ		職名			
氏名					
講座名	該当に○ 保健体育研修講座 ・ 養護教諭研修講座				
該当に○	欠席	令和	年	月	日
	遅刻	令和	年	月	日 時 分まで
	早退	令和	年	月	日 時 分から
理由(具体的に)					

【提出について】 ※所属長名による提出です。受講者は提出できません。

・以下のルートにより、それぞれの管轄するところへ郵送・メール・FAXのいずれかにより提出すること。(鑑不要)

・各ルート上の受付者は、()を記入して進達すること。(鑑不要)



福岡県体育研究所 (FAX 092-611-1747) ・(アドレス taiikukenyusho@pref.fukuoka.lg.jp)

※市町村(学校組合)立学校・政令・中核市立学校は直接福岡県体育研究所へ提出しないこと。

個人研究のまとめについて

個人研究のまとめは、以下の書式・構成等を参考にして、作成してください。

1 書式全般について

●書式について

- ・A4、1頁は45行・45字、マージンは上下25mm、左右21mm
- ・6ページにまとめる。印刷時は両面印刷とし、ページ数を入れる。

●標準フォント

- ・MS明朝体 10.5ポイント
- ・項目はMSゴシック10.5ポイント

●段落番号

- 大項目・・・1、2 <数字>
- 中項目・・・(1)、(2) <括弧数字>
- 小項目・・・ア、イ <カタカナ>
- 第2小項目・・・(ア)、(イ) <括弧カタカナ>
- 第3小項目・・・a、b <アルファベット>
- 第4小項目・・・(a)、(b) <括弧アルファベット>

※半角文字は「F8」で変換できる

※括弧付きのものは全て半角文字とし、番号の後ろを半角空ける。

●インデント位置

本文は全て左揃えで書き始め、小項目以下の段落記号は1文字分空ける。

注)→半角スペース

注)→半角スペース

注)■→1マスあけ

2 ■ 主題・副主題について
(1)-主題の意味
■ ア ■ ○ ○ ○ ○
■ (ア)-○ ○ ○ について
■ 社会の変化は、急速に変化し～
■ ■ a ■ ○ ○ ○ ○～
■ ■ (a) ○ ○ ○ ○

※行頭にくる「(括弧)」については全角、対応する「(括弧)」についても全角とする。

●箇条書き

先頭文字を1文字分空ける。

<例>
■ ○ ■ 学び合いを支える具体的な支援

■ ○ ■、～
■ ■。

} 1行に収まらない場合

●読点

読点は、(句読点)を用い、1文字分を原則とする。

●見出し

「図」、「表」、「資料」は、下記のとおりを示し、それぞれの通し番号付きの見出しをつける。フォントはMSゴシック9ポイント。位置は「図」、「資料」はその下部中央、「表」はその上部中央としできるだけ1行におさまるように工夫する。



図1-0000



資料1-0000

表1-0000

注)→半角スペース

※グラフは「図」、罫線を用いて複数の事項をまとめたものは「表」、児童生徒の作品や写真は「資料」

●2桁以上の数字やアルファベット

半角文字で入力する。

●文献等の引用

引用文は「 」や『 』の引用記号を用いる。

①直接引用（原文をそのまま入れる）の場合

<例>

学習集団について、島崎(1988)は、「何らかの知的・文化的欲求や関心に動機付けられて学習活動を行う集団の総称」と述べている。

②間接引用（大意を要約して入れる）の場合

※語句を省略する時は、……を2～3文字分入れる。

※直接引用は原文と一言一句変えないようにする。

※引用文献等の著者名を本文に記載する場合は、姓のみを表記する。共著の場合は「○○ら」と表記する。

2 構成等について

《1行あける》

主題（12ポイント MSゴシック 太字 中央揃え）

～副主題～（10.5ポイント MSゴシック 中央揃え）

《1行あける》

〇〇立〇〇学校■■教諭■■〇〇■■〇〇■■

《1行あける》

《1行あける》

1 ■主題設定の理由（10.5ポイント MSゴシック 太字）

(1) 〇〇から ※半角文字は「F8」で変換できる（10.5ポイント MSゴシック）

■・・・
・・・

《1行あける》

(2) 〇〇から

■・・・
・・・

社会や教育の動向からや児童生徒の実態等から、
主題が「なぜ」必要なのか、どのような価値や意義が
あるのかを多角的に述べましょう。

《1行あける》

2 ■主題・副主題について（10.5ポイント MSゴシック 太字）

(1) 主題の意味（10.5ポイント MSゴシック）

■ア■〇〇について

■・・・
・・・

〇〇とは、・・・・・・・・・・である。
※できるだけ簡潔に書きましょう

■イ■〇〇について

■・・・
・・・

主題の説明の後に、目指す（主題を達成した）子供の姿を示すと
わかりやすいです。

《1行あける》

(2) 副主題の意味

■ア■〇〇について

■・・・
・・・

主題と同様に説明しましょう。
副主題は主題を達成するための手立てです。

■イ■〇〇について

■・・・
・・・

《1行あける》

3 ■研究の目標（10.5ポイント MSゴシック 太字）

■・・・
・・・

〇〇（主題・目指す姿）にするために、
△△（副主題・手立て）することの有効性について究明する。

《1行あける》

4 ■研究の仮説（10.5ポイント MSゴシック 太字）

■・・・
・・・

△△（副主題・手立て）を工夫することによって、
〇〇（主題・目指す姿）になるであろう。

《1行あける》

5 ■ 研究の構想 (10. 5ポイント MSゴシック 太字)

* 実践する内容について

(1) 研究構想図

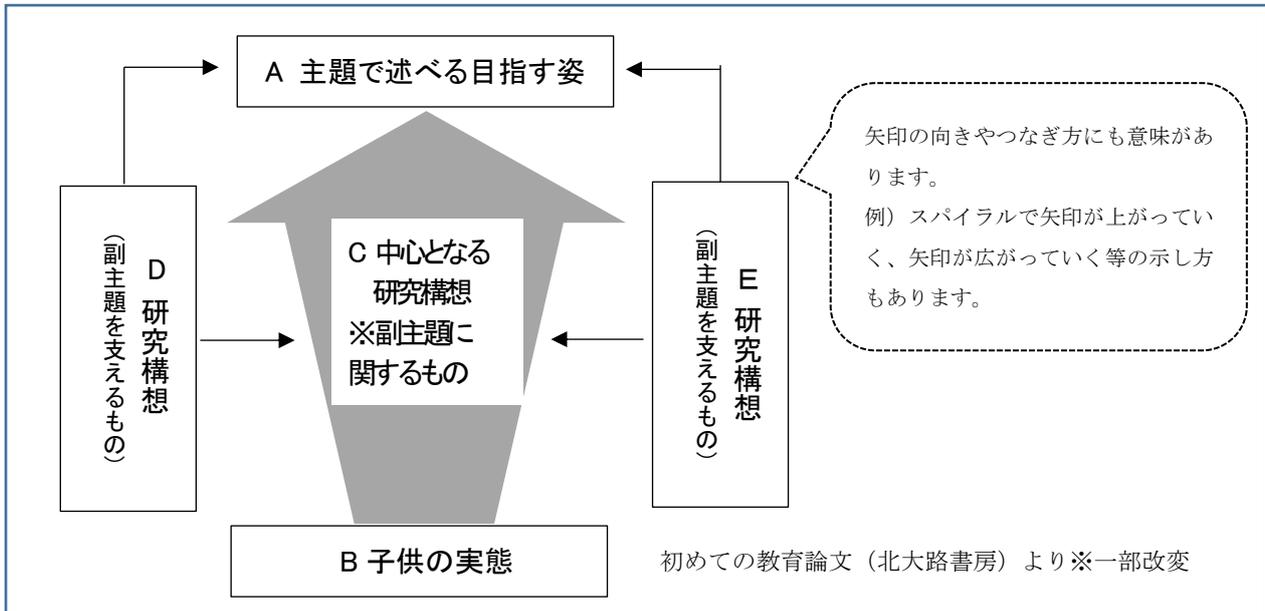


図 研究構想図の例

(2) 仮説検証の方途 (研究の計画等) * 表にまとめるなどでも

- ア ■ 対象
- イ ■ 期間
- ウ ■ 内容と方法
- (ア)-内容
-

《1行あける》

6 ■ 研究の実際と考察 (10. 5ポイント MSゴシック 太字)

(1) 単元構造図

(2) 授業の実際

- ア ■ ○○について
-
-

「6 研究の実際と考察」について
 ・「別紙」を参考に作成してください。
 ・単元構造図については、A4 1 ページで
 作成してください。

《1行あける》

7 ■ 研究のまとめ (10. 5ポイント MSゴシック 太字)

(1) 成果

- ■
- 《1行あける》

(2) 課題

- ■
- 《1行あける》

成果と課題は、シンプルかつ明確に記述できるようにしましょう。

引用・参考文献 (10. 5ポイント MSゴシック 太字)

- ・初めての教育論文 ■ 野田 敏孝著 ■ 北大路書房 ■ 2005

「6 研究の実際と考察」の記入例とポイント

(1) 単元構造図

(1) **単元構造図** には、学年・単元（領域）・単元目標・学習の流れ評価・評価規準を書きましょう。

(2) 授業の実際

単元の中から、特徴的な時間（副主題の手立てを活用している時間）を取り出して記述
教師がどのような支援・指導をして、子どもがどのように学んでいったかを記述

教師のはたらきかけ … 研究構想と関わる手立てを書く

↓

↑

子どもの反応 …………… 主題で目指す姿に関わる部分を強調して書く

「こんなことをした（活動）」

「こんなことを言った（発言）」 具体的な子どもの姿を書く。

「こんなことを書いた（記述）」 （よい姿もよくない姿も含めて実際の姿を書く）

(記入例1) 単元の各段階と子どもの反応

〇〇の段階（1～3時間）

〇〇の段階（4～6時間）

〇〇の段階（7～8時間）

(2) **授業の実際** には、結果や考察は書きません。
子どもの姿だけを書きましょう。

(記入例2) 学習の展開と子どもの反応

①検証本時（第〇時）

ア、主眼

イ、手立て

ウ、学習の流れと教師の働きかけ

②検証本時（第〇時）

ア、主眼

イ、手立て

ウ、学習の流れと教師の働きかけ

(3) 結果と考察

(3) **結果と考察** には、判断と根拠を書きましょう。

【判断について】 ← 何についての判断か

目指す子どもを具現化する上での手立ての有効性に関する判断

→有効であった（効果があった、効果的であった）

→概ね有効であった

→有効ではなかった

→判断できなかった

【根拠について】 ← どんなことを書くのか

判断の根拠を子どもの姿をもとに述べる。

発言内容（つぶやき）、ノート記述、活動の様子

(記入例3)

……において、……させたことは、子どもが……していく上で、〇〇〇。

このことは、……について記述させた際に、「〇〇」「△△」と、……に着目して記述した
子どもが〇%いたことから判断できる。

参考文献…野田 敏孝 (2005)『初めての教育論文』北大路書房

主題

～ 副主題 ～

〇〇立〇〇学校 教諭 〇〇 〇〇

1 主題設定の理由

(1) 〇〇から

(2) 〇〇から

2 主題・副題の意味

(1) 主題の意味

ア 〇〇について

イ 〇〇について

(2) 副主題の意味

ア 〇〇について

イ 〇〇について

3 研究の目標

4 研究の仮説

5 研究構想図

6 研究の実際と考察

(1) 単元構造図

(2) 授業の実際

(3) 結果と考察

7 研究のまとめ

(1) 成果

(2) 課題

引用・参考文献

・
・